

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

5-I-2

5-I-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	ネガティブイメージの払拭
	節	I. 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	2 正確な史実の普及		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市企画課、佐渡市地域振興課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○無宿人と罪人が混同されるなど、誤認されている史実や鉱山独特のネガティブイメージの払拭に向けて、正確な史実の普及を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○各種情報媒体による積極的な情報発信の他、旅行・交通事業者、観光・世界遺産ガイド等の講習会等において正確な史実の普及を図る。</p>			
R元 事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●出前授業、出張説明などで史実に基づいた説明をする。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●出前授業、出張説明、講演会などで史実に基づいて説明した。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■出前授業、出張説明、講演会以外への普及が必要である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■各種情報媒体や県内外での講演会において、正しい史実の普及に努める。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) · c] ◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) · c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) · C]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。